

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------|-----|------------|
| ○事業所名 | みらいクリエイト KITTO (放デイ) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年1月17日 | | 2026年1月24日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20人 | (回答者数) 14人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年1月17日 | | 2026年1月24日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8人 | (回答者数) 8人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月15日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 広い療育スペースが確保されている。とくに感覚統合遊具がたくさんあり、感覚を調整したり粗大運動も微細運動にもアプローチができる。鬼ごっこや遊具の動的遊びから塗り絵カードゲームなどの静的な遊びまで目的に合わせて遊べる。 | お子さんに合わせてイヤマフやパーテーションでの環境調整等を行っている。ホワイトボードでの全体スケジュールや個別スケジュールなど視覚化してわかりやすい環境にしている。 | 継続していく |
| 2 | 保育士・作業療法士・学校の元校長・児童指導員等の多職種を配置しており、様々な分野からの見立て支援を行っている。そのためお互いに尊重し合え職員間の雰囲気が良い。 | こども発達支援研究会と提携し、職員の資質向上に努めている。月1回の法人事例検討会やオンライン研修などの機会が豊富にある。外部研修の機会が確保されている。 | 何のためにどの活動をしているのかのめあてまで保護者に通知し、家庭でも取り組んでいただけるようにする。 |
| 3 | 現在は小学校3年までのお子さんが通っており、似た学年による相互作用が生まれている。また集団療育のなかでも個別支援ができています。 | 目的を持った集団活動や一人一人の個別訓練を実施している。こどもが「やらされている」と感じないよう自然に楽しみながら取り組めるように工夫している。 | 継続していく |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | サービス提供時間は17時までとなっており、17時以降就労したい保護者の支援が難しい。 | 法令により2名は支援スタッフ配置が必要となる。子育て中の職員も多く17時退勤の職員もおり17時以降は記録記入の職員を除く支援スタッフ2名の配置が困難。 | 制度内で対応が難しいため緊急時は福祉サービス外の自費サービスとして対応する。 |
| 2 | 子どもだけの通所であり、帰りの引き渡しの時は細かい共有までは難しく家庭での取り組みや様子を聞く機会が少ない。 | 計画更新の面談が半年に1回。保護者が相談したいときに、どのスタッフに伝えて良いのか、保護者側が把握し辛いかもしれない。 | お迎えの時に担当が対応できるときはなるべく担当がコミュニケーションをとっていく。また担当が異動などで変更になるときは保護者に伝える。 |
| 3 | KITTOは小6までとなっており、中高も放デイが必要な方は継続してご利用いただけない。 | 療育事業として検討した時に同じような目的・同じような発達段階での集団療育での成果を狙っているため。小1と、これから就業する高校生とでは療育方法が異なるため、制限を設けている。 | 中高でも居場所支援や保護者の就労支援で放デイを利用していく場合は、他の事業所への移行となるため、空き状況を含め先を見越して保護者と中学以降の居場所を検討する。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|------|----------------|
| 事業所名 | みらいクリエイト KITTO |
|------|----------------|

公表日 2026年2月15日

利用児童数

19人

回収数 18人(94%)

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|-------|---------------|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 16 | 2 | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 16 | 2 | | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 16 | 2 | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 17 | 1 | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 16 | 2 | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 18 | | | | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 18 | | | | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 18 | | | | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 18 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 18 | | | | | |
| 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 13 | 4 | 1 | | | | |
| 保 護 者 へ の | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 17 | 1 | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 18 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 17 | 1 | | | | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | 18 | | | | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 17 | 1 | | | 面談の頻度がちょうどいい。 | 半年に1回の計画更新で面談をお願いしています。基本平日の対応とさせていただきます。お仕事調整、いつもありがとうございます。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 17 | 1 | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|--|--|---|
| 説明等 | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 18 | | | | バーベキューやカレーパーティーが家族みんなで出られて楽しかったです。また企画してほしいです。 | 保護者同士はもちろんきょうだいさんもつながることができたようでうれしく思っています。またご参加お待ちしております。 |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 18 | | | | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 16 | 2 | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 18 | | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 18 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 16 | 2 | | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 18 | | | | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 17 | 1 | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 17 | 1 | | | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 18 | | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 17 | 1 | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 17 | 1 | | | 子供が何より楽しそうで、園の時からもう少し早くキットを知りたかったです。 | ありがとうございます。私たちも日々楽しみながらお子さんたちの成長を見させていただきうれしいです。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | みらいクリエイトKITTO | | | | 公表日 | 2026年2月15日 |
|---------|---|--|-----|---|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 8 | | 国の基準の10名定員の場合の25㎡を大きく上回る77㎡の支援室がある。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 8 | | 国の基準の10人に対して2人を大きく上回る配置をしており1日に5-6名出勤している。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 8 | | 視覚的なプロンプトがたくさんあり、わかりやすい空間になっている。 段差が少ない。 | 多目的に使用するため、自閉症のお子さんには過ごしにくいことがある。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | | カーベットの色合いを落ち着く色合いにしている。また掃除・除菌を毎日実施している。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | | 仕切りやカーテン等を使い、個別の空間を設けている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8 | | | 個別支援会議や全体ミーティングは支援時間外となるため、パート含む全職員の参画が困難。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | 毎年1回年度末に実施し次年度の運営につなげている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | | 第三者評価機関からの査定は行っていないが地域の方との意見交換を行っており地域に開かれた運営を心掛けている。 | 第三者評価機関からの査定を実施となると非常に高額のため実施が困難。 |
| 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 8 | | ・定期的にオンライン研修や外部研修が受けられる。 ・月1回の法人内事例検討会がある。 | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | | 作成し公表済。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 8 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | | ・個別ファイルで情報を共有している。 ・支援会議や都度話し合いにより共有している。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | 1 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|--|------------------------------------|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 1 | | 話し合いは17時以降にいる職員のみ。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 8 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 8 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 8 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 8 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 8 | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | 8 | | 該当なし |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 8 | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 7 | 1 | 各種イベントを通して地域と交流することがある。 | 日頃からとなると運営上困難と考えられる。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 8 | | 南越地区育つ部会のコアリーダー事業所を務め、地域課題の抽出と解決に取り組む。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | | 送迎時、スタッフと保護者が互いの気づきを連絡しあっている。 | お迎え時はあまり時間が取れないこともあり別途検討が必要な場合もあり。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 8 | | 9月～2月で全5回のペアレントトレーニングを実施し具体的なかわり方について家族と一緒に学んでいった。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8 | | こどもまんなかの視点をもって、お子さんがどうしたいのかを第一に支援を考えている。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 8 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | | 働かれている保護者が多いため、面談のご都合がつけやすいように事前にお知らせの紙をお渡ししている。 | 面談の頻度と場所は選べるようにするといいかも。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 8 | | ・土日や祝祭日に機会を設けていると思う。 ・お話会やBBQなど保護者やきょうだい時参加イベントを実施している。 | ・兄弟同士の交流は△ |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | | ・子供同士のトラブルがあった際には迅速に誤解のないよう説明に努めている。 ・職員間で共有し対応している。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 8 | | ・定期的におたよりの発行や事務連絡を行っている。 ・みらいクリエイトだよりを毎月発行している。LINEやインスタを活用している | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | | 言葉遣いに留意し、子供や保護者にわかりやすく伝えている。 | |
| 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 8 | | 上太田町のおたよりで夏祭りの開催を案内し、地域の方に来ていただいた。またハロウィンでは地域のお宅を回った。 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8 | | 各委員会を整備しており、その中でマニュアルの策定を行っている。ガイドラインに基づき義務化された訓練は実施している。 | ・不審者対応訓練は義務ではないが出来るようにしていきたい。 ・保護者への周知は、もう少し必要だと感じる |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | | 年間2回（二階への垂直避難訓練、大虫小学校への平行避難訓練・引き渡し訓練）を実施した。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 8 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 8 | 8 | | 保護者への確認で対応。 医師の指示書はもらっていない。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 8 | | 安全管理委員会が実施。毎月の安全点検・年2回の送迎検討会・年4回のヒヤリハット報告/検証会の実施 ヒヤリハットについてはすぐ記載、上長に報告し、その場で再発防止策を記入。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | | 入社時の研修がある。また年に1度県の研修に代表者が出席し伝達研修を行っている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 8 | | 他の子どもやスタッフに危険な行為をした際対応を細かく分析し記載している。 | | |